



コラム

医療機関における 目に見えない費用について



業務改善委員会委員 総務課 長井 敏明

住まいにおける日常生活においても、様々なコストがかかりますが、医療機関においても、家庭以上に様々なコストがかかっています。日常業務において、考えた事もないが、どうなっているのか分からない費用についていくつか紹介をします。

(1) 紙類の処分について

個人情報（機密文書）（SS-BOX）の紙類の処分について業者が回収し、破砕・溶解処理を行い、リサイクルされます。処理費用は、毎月10万程度発生します。

処分費用は、重量により、増減しますので、個人情報（機密文書）でないものは、古紙回収の方へ回してください。

個人情報以外の紙類の処分について

オフィスペーパー、新聞紙、段ボール等は、リサイクル業者が回収し、リサイクルされます。処分費用は発生せず、僅かですが、病院の収入になります。

ゴミの分別にご協力ください。

紙の種類	処分方法	ホチキス	費用
個人情報（機密文書）	SS-BOX	OK	10万円/月
個人情報でない紙類 オフィスペーパー 新聞紙・チラシ 院内配布チラシ 段ボール	清掃業者が回収し、 リサイクル業者が買い取る	OK	負担なし

(2) 電気料金について

照明、医療機器、冷暖房等様々なエネルギー源として必要な電気は、病院・クリニックと合わせて、700万円～800万円/月くらいの料金がかかっています。電気料金は気温・天気により大きく変動します。節電を心がけましょう。

(3) 産業廃棄物について

医療機関で発生する特別な廃棄物として「感染性廃棄物」があります。

感染性廃棄物とは「血液、血清、血漿及び体液」、注射針、メス、試験管、医療器材としてのガラス製器材（試験管、シャーレ、アンプル、バイアル等）手袋、衛生材料等たくさんあります。これらの感染性廃棄物は、「焼却処分」されます。

処分費用は、容器や袋（OL用袋）、収集量によって変わります。毎月の産業廃棄物の処分費用は100万円/月以上かかります。

事業所で発生するゴミは、「産業廃棄物」扱いですので、「壊れた椅子」等についても処分費用がかかります。

その他様々なコストがかかっていますが、代表的なものを紹介しました。

シリーズ “統計のはなし” No.10

「原因」と「結果」のはなし

私たちは何かの結果を目の前にしたとき、なにかしら原因があるはずだ、と考えがちです。思わしくないことが起きると「こんな結果になったのは何かが悪さをしたはず」なんて勘ぐることがありますよね。

でも、原因を単純に特定できるものでしょうか？一つ単純な例で考えてみましょう。

毎年夏にアイスの売り上げを伸ばしたいマーケティング部門の話。2011年に広告を出したところ、2010年よりも40%も売上げが伸びていました。「広告を出す（原因）→売り上げが伸びる（結果）」と考えて広告に力を入れてもよいでしょうか？

別な要因が働いている

詳細に調べてみると、2011年の夏は記録的な猛暑でした。これでは広告のおかげなのか、暑い夏のせいなのか、はっきりしません。

順番が逆だった

さらに詳しく調べてみると、猛暑で売り上げが良いので、さらに業績を伸ばそうとして広告を出していたことが分かりました。売り上げが先で広告があとでは原因と結果の順序が逆ですね。

「広告のおかげ」と言うには事情が単純ではないようです。こういった事情を踏まえつつ、それでも原因とその程度（効果）を測るにはどうしたものでしょうか？今回参考にした下記の本には対処法が紹介されています。気になる方は手に取ってみてください。

「データ分析の力 因果関係に迫る思考法」（伊藤公一朗 光文社新書）

<https://amzn.to/333heCv>

経営企画室 SE 佐藤洋之





全日本民主医療機関連合会

医療の質の向上・
公開推進事業
Quality Indicator-Improvement

全日本民医連DPC参加病院300床以上との比較

毎号1つの指標についてベンチマーク結果や時系列の推移など紹介していきます。

救急車受け入れ割合

